

「チャレンジクラス」申合せ事項

1 新型コロナウイルス感染予防対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、競技方法や招集方法等、運営に変更が生じる場合がある。
- (2) 自身の競技終了後は、退館にご協力をお願いいたします。
- (3) 体温が 37.5 度以上ある場合は、センターに入館できないため、大会事務局まで連絡すること。
- (4) 館内を移動する際には、感染リスクの高い方々も利用している為、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

1 本大会は、2023 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申合せ事項を適用する。

2 競技順序は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号の上から順に行う。

3「実施種目表」①・②・③・④は、各種目 制限時間を設けて実施する。その制限時間を超えた場合は、タイムオーバーで失格とする。

「実施種目表」①・②では、泳者は歩行しても浮助具を使用しても良い。

「実施種目表」①・②・④では、介助者は声かけ・伴泳はしても良い。

ただし、泳者より前に進んだり、泳者に触れた場合は失格となる。

※プログラムの特記事項に「水介」とついている選手は水中介助者あり

4 「実施種目表」①のゴールは、スタートラインから 15m の位置にプールサイドの両側に設けたゴールライン（赤）を結んだライン上に達した時点で判定する。

5 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。

6 招集所は体育館内とし、招集は競技開始の 15 分前開始。5 分前終了とする。時間に遅れた場合には棄権とみなし、呼び出しは一切行わないので注意すること。

7 競技時間は進行の都合により変更する場合があるので、招集所の表示に注意すること。

8 浮助具使用の選手は、自ら持参した浮助具を使用できる。

9 プール施設室内温度は 31℃、水温 31℃とする。

※今年度からスタートの仕方が変更になります。

公益財団法人日本水泳連盟は、事故防止のために、「プール水深とスタート台の高さに関するガイドライン」（2005 年）を策定しています。

当センターのプールの水深ですと策定を満たさない為、参加される皆様の安全の確保する事が困難と考え、

全種目水中スタートとさせていただきます。

ご理解の程、宜しくお願い致します。